

第 1 回向日市中学校給食検討委員会 会議録

日 時	平成 2 7 年 9 月 3 0 日（水）午後 3 時～ 5 時
場 所	向日市民会館第 1 会議室
出席委員	大谷委員長、藤井副委員長、縄手委員、富田委員、寺井委員、長坂委員、西森委員、森崎委員、西山委員、宮前委員、岩野委員、野田委員、今西委員
欠席委員	なし
事 務 局	永野教育長、吉田学校教育課長、小畑学校教育課担当課長、奥村学校教育課担当課長、楠堂学校教育課主査、浦元教育総務課長、片山教育総務課課長補佐
内 容	1 委員長及び副委員長の選出 2 向日市中学校給食検討委員会の会議の公開に関する要綱及び向日市中学校給食検討委員会傍聴要領について 3 中学校給食の現状について 4 アンケート調査について
傍 聴 者	6 名
委員長	開会 ○教育長挨拶 ○委嘱状の交付 ○委員及び事務局職員の紹介 ○内容 1 委員長及び副委員長の選出 委員の互選により、委員長に大谷委員、副委員長に藤井委員を選出した。 ○内容 2 向日市中学校給食検討委員会の会議の公開に関する要綱及び向日市中学校給食検討委員傍聴要領について 異議なしで、承認された。 ○内容 3 中学校給食の現状について 事務局から説明願う。

事務局	中学校給食の全国の実施状況について、ごはん又はパンとおかずとミルクが揃った完全給食の公立中学校実施率は、文部科学省の平成25年調査では、全国平均が86.0%となっており、京都府は69.2%と、全国平均を下回っている。また、京都府下の平成26年度の実施状況は資料のとおりである。本市の中学校の昼食の状況は、家庭の手作り弁当持参が9割程度であると学校から報告を受けている。また、弁当を持参できない生徒は、登校時に、おにぎりやパンを購入したり、校内販売のパンを購入している。学校にもよるが、だいたい15～25人が校内販売を利用している。弁当に加え、校内販売のパンを利用する生徒もいる。学校給食の実施方法について、提供方法は、全員が同じものを食べる全員喫食方式、給食と家庭の弁当を選べる選択制方式がある。また、提供形態は、小学校と同じように、調理したものを食缶に入れて教室まで運搬し、配膳する食缶方式と、あらかじめ1人分ずつを弁当箱に詰めてある弁当箱方式がある。学校給食の実施方式は、学校の敷地内に給食室を建設し、そこで調理する自校方式、他の学校の給食室で調理し、運んでくる親子方式、いくつかの学校分を給食センターで一括して調理し、各学校へ配送するセンター方式、民間業者で給食を調理し学校へ配送するデリバリー方式がある。
委員長	この件について、ご意見・ご質問はないか。
委員	いろんな立場の方がいらっしゃる。何人か、ここに来るにあたって、子どもさんに聞いてみたが、好き嫌いのある子どもさんなら、お弁当の方がいいし、小学校のような給食であれば、給食が食べたいといわれるお子さんもある。特に中学生になると、男女で量も違うし、給食だと量が少ないからいやだと思ってしまう方もある。
委員	私も何人か聞いてみた。お弁当が良いと言う方もあるし、給食があると楽だと言われる方もある。給食が始まったときは、おいしくない可他市からも聞いており、不安だという声も聞いている。
委員	中学生になると男女で食べる量が違うことや、他市でも最近問題になっているが、冷たい給食という問題、それが改善されるなら給食も良いという声もちろほら聞いている。
委員長	量のことを心配されているが、栄養教諭の立場から、いかがか。
委員	小学校でも、配膳で差をつけているところもあるが、中学生になると小学生以上に個人差が激しくなるので、配膳方法が難しくなると思っており、量の問題は心配である。 先ほどの話でもあったが、偏食のきつい子ども達は早く中学校になってお

	弁当にならないかと思っている子どももいるが、偏食のない子ども達は、給食が楽しみなので、中学生になっても懐かしく、中学校にも給食があったら良いなあとの声も聞いており、立場は様々。
委員	意見ではないが、資料の補足をしたい。平成 26 年学校給食実施状況の表の実施方式について、かっこ書きのない市町村は給食として実施されているが、かっこ書きのところは給食という位置づけではなく、選択性デリバリー弁当を実施されている。呼び方はいろいろだが、ここでは統一して書かせてもらっている。市町村で実施されていない学校がある場合は、実施校数をかっこ書きで書いている。
委員長	私が関わったところでいうと、選択制にすると規模により、注文数が少なく、業者が成り立っていかないという難しさがある。京都市なら 7 万食あるので、1 割の注文でも結構な数になるが、小さい市町村では、業者の引き受け手がないという問題があるので、情報としてお知らせしたい。 ところで、向日市の中学生の数はどれくらいおられるか。
事務局	3 中学校あり合計で 1, 4 7 6 名である。 4 0 0 名から 5 0 0 名の学校が 2 校、6 0 0 名弱の学校が 1 校である。
委員	資料の表を見て、結構中学校でも給食がされていることに驚いた。いろいろな方式があるが、弁当から給食に切り替わったところの中学校の現場の先生方の意見はどうか。経験がないので、不安がある。
委員長	今までに関わったところで、一番ハードルが高いのは中学校の先生方で、例えば食缶方式だと全員で配膳しなくてはいけないため、その生徒指導に時間が費やせない、給食に時間がとられると、放課後の時間に支障が出るなど、時間的な制約についての反対意見が多かったのが現実である。実際に食缶方式で給食を開始して、荒れている学校だと 1 階から 3 階までの間に子どもの好きなおかずだと、から揚げなどはなくなるなんて聞いたこともあったが、実際に視察に行った学校ではそんなことはなかった。小学校では、エプロンとマスクをつけて配膳をしているが、中学校でできているところは見なかった。生徒指導が難しいと感じている。
委員	中学生の 1 年と 3 年では体格がずいぶん違う。小学校でも、学年で低・中・高学年で差をつけておられると思うが、量の問題が心配なのと、中学校ではクラブ活動がずいぶん盛んで、男子は大きなお弁当を持ってきて食べており、個人差への対応について心配である。また、食物アレルギーのきつい子で、エピペン等を処方されている小学生もいると思うので、給食実施に際しては、食物アレルギー対応が一番配慮がいるところだと思う。

委員長	何をおいても、安全性が確保されるべきであると思う。 高槻市の親子方式の給食を視察に行った時、中学校では4時間目の授業は担任とは限らないため、配膳するところまで、4時間目の先生が指導されている。その後、担任の先生と変わられるが、せっかく配られたものが、女子生徒は返しにくる。男子が全部持っていくので、クラスとしての残食はないが、食べている子と食べてない子が出てくるので、指導をしっかりとしないと、せっかく良い給食をしても難しいと思う。 ○内容4 アンケート調査について
委員長	アンケート調査について事務局から説明願う。
事務局	中学校の昼食に関する意識と実態を把握し、今後の中学校給食の導入に向けた検討資料にしたいと考えている。対象は、小学校4年生から6年生までの児童約1,600名とその保護者、中学校1年生から2年生までの生徒約1,000名とその保護者及び中学校の教職員約100名、合わせて約5,300名になる。調査項目については、朝食摂取の状況、弁当の持参状況、希望する昼食の方法、中学校給食への期待事項、中学校教職員には食育、中学校給食実施上の課題についてお聞きしたいと考えている。 具体的な内容については、向日市中学校昼食アンケート(素案)を見ていただきたい。
委員長	アンケートを見て、何か質問はないか。
委員	アンケートの実施方法や、集計方法はどのようなのか。
事務局	児童生徒については学校で配布・実施し、保護者の方については、児童生徒を通じて配付し、学校を通じて回収できればと考えている。 また、集計は事務局でと考えている。
委員	説明を聞いて、きめ細かい内容になっていると思うし、朝食のことなど向日市の子ども達の実態を知る上で良い内容と思う。ただ、気になるのは、字が多く、本当に一つの質問に回答が8項目いるのかどうか、答える側とすれば、簡素化した方が答えやすくて、本音が聞けるのではないか。
委員長	お弁当箱に盛り付けられた給食というのは、業者で作ってもらうのか、それとも市の調理師が作ったものを、食器ではなくお弁当に入れる、二つを考えているということで良いか。
委員	実際には給食センターでお弁当箱に入ったものを配送するのは、面積的な

	ものもあり、実現性はどうかということはある。今ここで聞いているのは、食缶に入った給食を配膳して食べるのか、お弁当箱に入ったものを食べるのかを聞いている。お弁当箱に入ったものは、食缶に入ったもののようにあつあつではないということも含めての選択肢である。 アンケートの項目が多いという意見があったが、中学校給食に期待することは全員にお答えいただいた上で、その理由を、以下の項目から選ぶので、全て答えていただくわけではない。
委員	アンケートの項目では、「中学校ではどのような昼食を食べたいですか、何を食べさせたいですか。」が一番聞きたいことなので、これを一番前にもってこないと埋もれてしまう。答える立場からすると、現状で満足しているのか、給食を利用したいのかがはっきりわかるように答えられるようにした方が良いと思う。
委員	まず、給食を実施するのかしないのかが課題になってくるが、このアンケートではわからないというか、まずストレートに給食が良いですか、要らないですかと聞いた方が、親としてはわかりやすい。委員が提案されたように、まずこの項目を聞いて、その後で細かい項目を聞いた方がわかりやすいと思った。
委員長	期待することに、食習慣の伝承が入っていない。いろんな地域の食文化を伝承するということでは、給食の方が範囲は広いと思う。
委員	小学校の児童用アンケートの4番、給食が良いと考えた理由に、栄養のバランスが入っていない。4年生以上なら、わかっている子どもも多いので、項目として入れていただいた方が良い。その他では書きにくいし、中学校の給食を望む子どもにしたら、栄養のバランスが一番かなと考えられるので、項目として入れていただいた方が良いと思う。
委員長	ありがとうございます。また、検討いただけたらと思う。
委員	今さらですが、給食をすることになったというスタンスか、給食の導入を考える検討かどちらか。
事務局	安田市長も申してるように、給食の実施に向けて検討をしていきたいと思うが、今のお弁当を望む声もあるのかと、それをアンケートで調査して、状況を踏まえて昼食の検討をしていただけたらと思っている。
委員	先ほどアンケートを、児童生徒が学校で、保護者は家で回答したものを回収すると言われたが、小学生も家庭に持ち帰り一緒にすると親子で話しをす

	る、良い機会になり良いと思う。
委員長	アンケートは無記名か。
事務局	無記名である。
委員	アンケートを親子で相談して書くようになると親の意見がそこに入ってしまうという恐れがある。率直に子どもは子どもの意見をということで、学校で回答してもらう方式にしたいと思っている。
委員	どの回答が多くなってもそれに対応できるのか。
委員	どれを選択されても、可能といえば可能である。
委員長	費用負担は小学校と比べて増えると思いますが、いくらくらいになるか。今、小学校はいくらか。
委員	今、1食238円ですが、かなり厳しい状況である。また、中学校の場合、量が1.3倍くらいの分量とよく言われており、それを考えると350円程の金額になるのではないかと考える。アンケートでは金額は聞いてないが、逆にどれくらいなら良いかということである。
委員長	他の市町村ですが、学校給食費の振込みが苦しいからと、保護者の方で反対される方がおられると聞いたことがある。
委員	食缶方式を望まれた場合、実際問題、お昼休みの時間で給食を配膳して、食べてということが大丈夫でしょうか。中学校の先生にお聞きしたい。
委員	給食を経験したことはないのですが、現状でいうと、12時40分に4時間目が終わって、昼食20分、お昼休み20分になっている。給食を実施されている学校の様子がわからないので、この20分で運搬・配膳・片付けまで入ると、後ろに押していくかなと思う。
事務局	中学校給食の学校に勤務していたことがあるが、通常配膳指導ができておれば、4時間目の終了時間は12時40分で12時50分過ぎに配膳が完了している。その後、昼食時間を15分程度とすると1時05分までとなる。その後、後片付けとなるので、給食当番のお昼休みがほとんどないということになる。現状だと20分のお昼休みにグラウンドへ出て遊んだりしているが、この時間は短くなってくると思われる。

委員	給食が導入されると、学校の昼食時間や部活の開始時間等を変える必要も出てくる。今でも女の子などは時間をかけてゆっくり食べている現状があり、当番の子はその子も食べ終わるのを待つことになる。また、同じお金を払っていて、食べるのが少ない子もいるし、場合によっては、人の分も食べる子もいる。 一旦給食が始まると、生徒の状況に関わらずやらなければならない。そうになると、本当に生徒が落ち着いて食べられるのか。それとは別に、現状中学校では9割がお弁当を持ってきており、パンしか食べてない子はごくわずかである。今までの中学校での保護者への指導は、お弁当を作って欲しい、それがコミュニケーションであり、子どもが喜んでいる部分は大きいとしてきた。数としてはわずかではあるがお弁当を持って来られない子達のことを考えると、給食もありかなと思うが、発達段階に応じて食べる量が違うことは出されたが、それも含めて、アンケートによって、バランスよく意見を集約してもらいたい。 どういう形であれ給食を実施すると受け取ったが、保護者も子どもも弁当が良いとなった場合も、給食を導入するのであれば、考えていかなければならないと思っている。
委員長	向日市で、中学校給食を実施すると考えておられるのであれば、実施するにあたり、どんな給食にしたら良いかというアンケートにされたらいい。今さら、お弁当か給食かときいて、お弁当となったらややこしくなる。例えば、中学の先生は部分的には入っているが、給食を実施する時、どういうところがハードルになるか、問題点を整理した方が良いと思う。実施する場合、カリキュラム全体を見直さなければいけない問題が出てくるかもしれないし、クラブ活動の問題もあるでしょうし、把握して検討した方が良い。
委員	子ども達が配膳して食べているというのが、イメージできない。何が問題なのか、理想の形は何なのか、エプロンとかがいるのかとか、当番の人の数とか、わからない。具体的な形があれば、問題点がわかるが、向日市の先生はそのイメージがない人が多い。
委員長	実際に視察をして、調査研究すると良い。
委員	具体的なイメージが想像できないということもあるので、実際にされている現場を見ていただくのが一番である。例えば導入した後に、学校の昼食時間や部活の開始時間等を変更したのか、していないのかを含めて、視察をしていきたいと思っている。 なお、アンケートを含めてこの委員会での検討は、給食を実施するという前提ではない。 ただ、学校給食法でも、給食というのは、努力義務であるとされ、食育基

	本法なり、学校給食法の目標でも、給食というのは生きた教材であるとされており、実施していきたいと考えている。
委員	アンケートをとる主旨を案内文できちっとわかるようにしてほしい。子ども達は学校で説明されると思うが、保護者もわかるようにしていただきたい。事務局の説明であったが、週に1回もお弁当を持って来ていない子どもがいるのであれば、一番恵まれない環境にある子ども達を救うという視点が大事かと思う。私の同僚で、奥さんが病気で親父が弁当を作っているという人もいますので、真摯に実態を受け止めて考えていきたい。
委員長	他に意見があれば、このアンケートについての用紙で、FAX、Eメールで送っていただければと思う。
事務局	一週間ぐらいでご意見をいただけたらと思っている。
委員	アンケートですが、調査の対象の部分について、小学校の4年生から6年生、中学校の1年生から2年生、あと該当の保護者と先生ということになっているが、これで良いか確認いただきたい。
委員	中学校3年生を除いておられるが、もう卒業するということで、保護者の方にお聞きするのは必要ないかもしれないが、中学校で3年間お弁当生活をしてきた子どもの意見を聞くというのは、良いと思う。先ほどのお話にもあったが、大体の保護者の方は、朝、お弁当を作る手間を考えると本当にありがたいということはある。ただ、小学校と違って中学校の給食を食缶方式でやると、時間のことなどいろいろ課題があること、アンケートをする前にデメリットがあるということを伝えておかないと、小学校の給食と同じイメージで思ってしまい、朝作らなくてよくて、栄養のバランスがとれていて、温かい給食と思うのではないか。
委員長	時間が押してきているので、言い残したことはアンケートについての用紙に書いていただきたい。
委員長	それぞれの委員の方にご意見を出していただけたのではないかと思います。 ご協力、ありがとうございました。
	閉会